

報 告 書

開催日時	平成 24 年 5 月 11 日(金) 午後 7 時～午後 8 時 50 分	
開催場所	長部漁村センター	
出席議員	挨拶 藤倉 泰治	
	司会進行	佐竹 強
	報告者	清水 幸男
	記録者	菅原 悟(副班長)・菅野 定
	出席議員	上記のとおり
参加人数	59 名(松田補佐事務局・須賀建設部長・山田都市計画課長含む)	
主 な 要 望・提言等	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高台移転の進捗状況は？(移転場所が決まっているのに遅い) ・45号線の嵩上げは何メートルなのか？ ・絆基金及び復興基金の内容は？ ・防災集団移転についての情報を協議会に早めに教えてほしい。 ・高台移転の進捗状況を詳しく知りたい。(具体的に測量はいつから等) ※14日午前コミセンへ回答 ・防潮堤の説明会はいつ開催されるのか？ ※14日午前コミセンへ回答 ・議会として意見書・請願書を提出した後の結果が報告されない。 ・行政視察の成果はどのように反映されているのか？ ・個人で高台移転を行う場合の取付道路工事に関する助成は？ ・先日の水害において水没した個所等の今後における対応は？ ・高台移転に伴う発掘・試掘についての予算はどうなっているのか？ ・発掘・試掘は申請すればやってもらえるのか？どの程度の期間を要するのか？ ・高台移転に係る問題点への早期対応を希望します。 ・三陸道のルート変更を要望する声もあるが、変更によって様々な影響が生じるので、慎重な対応を望む。 ・国道45号線・県道・市道・生活道路の今後の整備内容の説明を願う。 ・浸水地の買い上げ時期と価格はどうなっているのか？ ・復興計画で挙げられた長部地区の整備目標について項目毎に議会としての考えを聞いたかった。 <p style="text-align: center;">全く、何にも進んでいないと感じられた。</p>	
所 感	<p>藤倉泰治</p> <p>多くの人たちの参加があった。「復興の様子がまったく見えない」という批判をうけた。先々の生活や生業に対する不安が増しているもとの、市の復興の進み具合や現段階を何らかのかたちで示していく必要を感じた。</p> <p>なお、高台移転について、その取り組み状況の報告を求める意見があっ</p>	

たが、この問題については、用地の問題など各協議会内において様々苦労していることでもあり、慎重な対応が必要と思う。

清水 幸男

震災より1年2ヶ月が経過し、これからの高台移転や公営住宅等の問題点及び防潮堤、道路等の対応について求められ、早期の復興を求めることの強さを感じた。

菅原 悟

長部会場には、コミセン事務局の小泉さんによるお声がけが徹底された様で、約60人の出席があり、活発な意見交換がなされた。

出席市民から真っ先に出されたのは、防災集団移転事業に伴う工事に関してで、移転先は既に決定しているのに工事が全く始まる様子が見られないのは、なぜかという質問がされた。

また、生活道路等の早期改修を要望する意見も多数聞かれた。

菅野 定

陸前高田市の復旧・復興の進捗状況を目に見える形にして欲しいといわれ、また「自分たちはお墓に入るのが先か、建てた家に入るのが早いかな」と不安だらけの生活を送っているとも言われ、被災した住民の方々の精神的な苦痛がひしひしと伝わってきました。

私たち議員が本気になって市民の不安を取り除けるように活動しなければと再決意しました。

陸前高田市議会議長 殿

平成24年5月31日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度議会報告会第3班

班長 藤倉 泰治 ㊞